

「学び、気づき、成長する体験学習！」

# 問題解決シリーズ オリジナルプログラム「問題設定と原因追究（なぜなぜ分析）」

## 2日間で学ぶ！

●●● 現場を強くする！問題設定と原因追究の考え方を、体験を通して理解できます ●●●

問題解決（改善活動等）はどのような職場や立場でも少なからず実践しているはずですが、成果にはバラツキがあるのではないのでしょうか。その主な理由は、まず「問題の特定」が曖昧なため、問題に上手くアプローチできてないことが上げられます。また、原因追究（なぜなぜ）において体系的な展開が進まないこともその理由と考えられます。そこで、本プログラムは、問題解決プロセスにおける、上記2点についてその考え方と進め方の基本を学んでいただくことを目的に構築されたものです。単なる座学ではなく、体験的に参加することで、その基本を学びます。

### ■ プログラム の特徴

- ◆ 座学に加え、体験学習を重点に進めます。体験によってより気付きと理解を促進します。
- ◆ プログラム全体が累進的に組立てられており、理論と実際を往復することでステップアップしながら学べます。
- ◆ シンプルで理解しやすいプログラムになっています。
- ◆ メンバーが相互に交流しながら、楽しく、かつ効果的に学ぶことができます。

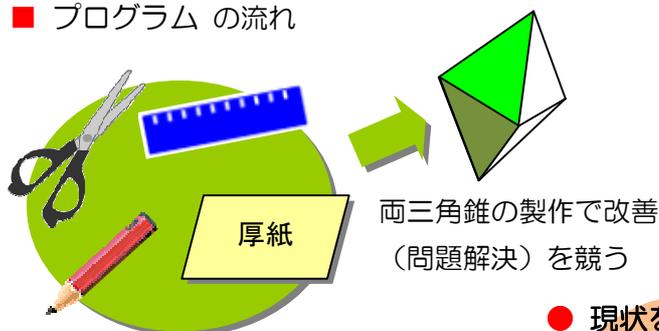
### ■ 学ぶポイント

**問題解決**

プロセス	目的と問題
問題の定義	問題の層別
ロジックツリー	なぜなぜ
フレーム	標準化

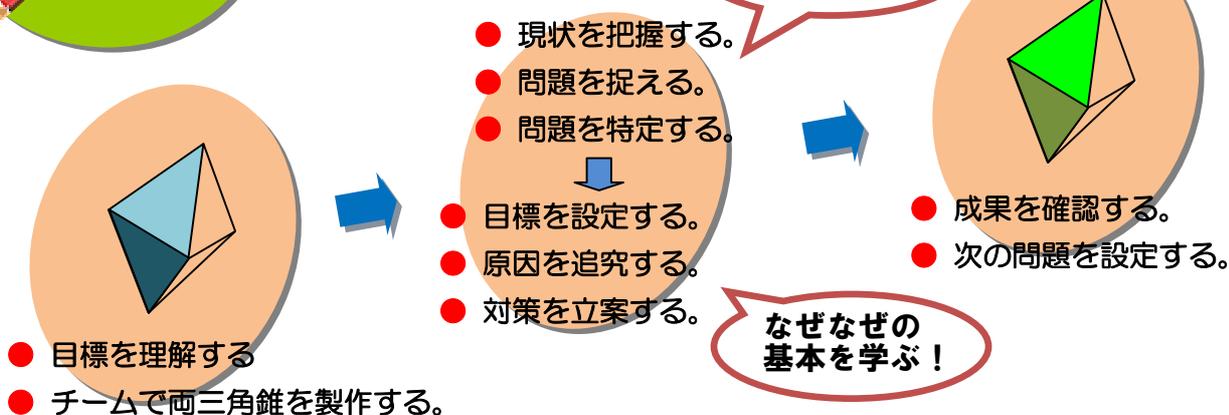
■ 標準定員：20名

### ■ プログラム の流れ



### ■ こんな方に…

問題解決を基礎から学びたい方。  
職場の中心となって改善等を進める立場になる方。  
【対象】 職場リーダー、管理監督者 等



主催（お問合わせ・お申込み）

株式会社プロカレント

〒460-0008 名古屋市中区栄3-12-6

ライオンズビル栄6F

プロカレント

検索

<http://procurrent.jp/> [info@procurrent.jp](mailto:info@procurrent.jp)

TEL (052) 269-0267 FAX (052) 269-0268

## ●問題解決 問題設定と原因追究 基本プログラム

時間	1日目	2日目
9:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オリエンテーション</li> <li>1. 問題解決（改善活動） 改善と問題解決 問題の定義</li> <li>2. 問題解決のプロセス 問題発見～分析～対策～実行～標準化</li> </ul>	（ 昨日の振り返り ）  4. 問題解決 step② — 両三角錐作成演習 原因分析 — 要因の洗い出しと真因の特定 ・原因分析のやり方となぜなぜ分析 ・原因分析手法の活用
12:00	昼	昼
13:00	3. 問題解決 step① — 両三角錐作成演習 目標設定 — あるべき姿の特定 現状把握 問題の層別 問題の特定と目標設定	対策立案  5. 問題解決 step③ — 三角錐作成演習 成果と標準化 — 成果確認と問題の抽出 標準化（定着）と横展開の考え方
17:00	● 今日のまとめ	● まとめ

※時間配分は進捗に合わせて変更があります。

### ● 参加者の声

座学だけでなく、二日間を通して一つのテーマで体験的に演習できたため納得感があった。（電子部品製造業）  
 何気なく問題という言葉を使っていたが、問題とは何かははっきり認識できた。（食品卸売業）  
 問題解決時における問題の特定が重要であるということに気付いた。（工作機械メーカー）  
 問題解決のプロセスと論理的思考力の重要性が理解できた。（小売流通業）  
 ナゼナゼの進め方や進め方のポイントが理解できた。（精密機械メーカー）  
 原因分析の仕方（ナゼナゼ）で、成果に大きな違いが出ることに気付いた。（自動車部品メーカー）  
 標準化の考え方やポイントが整理できた。（総合建設業）

### ● 対象者

<対象> 職場リーダー、改善リーダー等、中堅～管理監督職の方  
 ～ こんな方に ～

- ・問題解決を基礎から学びたい方
- ・職場の中心となって改善等を進める立場になる方
- ・部下を指導する立場にある方
- ・仕事の生産性を高めたい方 等

【 お問合わせ・お申込み 】

株式会社プロカレント <http://procurrent.jp/>

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目 12-6 ライオンズビル栄6F

TEL : 052-269-0267 FAX : 052-269-0268 mail : [info@procurrent.jp](mailto:info@procurrent.jp)